

(款) 30農林水産業費 (項) 5農業水産業費 (目) 5農業委員会費

◎農業委員会の経費

農業委員会事務

農業委員会事務局

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【事業の内容】

(1) 農業委員会事務

- ・ 農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,329	7,329	6,726		603
主な支出内訳				
・ 農業委員会事務				
農業委員会委員報酬 16人				6,211
農業委員費用弁償				53
事務局職員普通旅費				96
遊休農地解消対策事業消耗品費				95
農業委員大会用バス賃借料				68
農業委員会職員事務研究会会費負担金				12
主な特定財源				
・ 国県支出金				806

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-29 農業委員会事務 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	346 運営事業					
主管課	農業委員会事務局	関連課	産業振興課				
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	豊で住みよい地域づくりができる都市農業をめざす。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
	農業従事者数	446人	474人	467人			
運営資源 状 況	決算値	6,726千円	6,864千円	7,233千円			
	(国・県)	806千円	829千円	897千円			
	(負担金等)	133千円	228千円	199千円			
	(一般財源)	5,787千円	5,807千円	6,137千円			
	人員配置数	3.0人	2.5人	2.5人			
	人 件 費	27,449千円	23,672千円	22,846千円			
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	34,175千円	30,536千円	30,079千円			
	市民1人当 りの経費	194円	174円	172円			
	対象者1人 当りの経費	76,626円	64,422円	64,409円	農業従事者数使用		
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由				妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
遊休農地面積解消	×	目標値	3.0ha	2.9ha	3.7ha	3.3ha	
		実績値	3.3ha	4.1ha			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
遊休農地解消実践活動地	◎	目標値	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		実績値	1箇所	1箇所			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) <ul style="list-style-type: none"> <li>農地法違反の是正指導について、是正が進まない案件に対する対応策に苦慮している。</li> <li>遊休農地の現状把握が困難である。</li> <li>今後、早期解消に向けた取組方針の策定が必要である。</li> </ul>
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) <ul style="list-style-type: none"> <li>農地法違反指導として、農業委員との現地調査、随時の現地確認、電話連絡など、また県農地課等とも定期的に農地パトロールを行い、状況の確認及び是正指導を粘り強く行った結果、是正が進んだ。</li> <li>また、是正が進まない案件については、所有者及び転用者に是正状況報告書の提出を指導したところ、是正の効果が見られた。</li> <li>違反転用防止策として、市広報への掲載、農家へのパンフレットの配布を行い、違反防止の周知に努めた。</li> <li>遊休農地解消対策については、その概要を把握すべく、産業振興課と協力し、農業振興地域について4ヶ月かけて調査を行い、約4.1haの遊休農地面積を筆単位で把握した。</li> <li>遊休農地解消対策として遊休農地解消対策協議会により、遊休農地を活用した実践活動を行い、遊休農地解消の意識啓発に努めた。</li> <li>収穫物の学校への配布を行い食農教育に役立てた。</li> </ul>
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) <ul style="list-style-type: none"> <li>農地法違反の是正が進まない困難な案件がある。</li> <li>遊休農地の解消に向け、所有者の意向が未確認である。</li> <li>今後、解消計画の策定が必要である。</li> </ul>
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) <ul style="list-style-type: none"> <li>農地法違反の是正指導を、農業委員・神奈川県・県警察と連携して推進する。</li> <li>遊休農地の解消に向けて、所有者の意向を把握し、解消計画を検討する。</li> <li>農業従事者に農地の拡大、貸し借りの意向について調査する。</li> </ul>

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地法違反の是正に向け、さらに努力する。新たな農地法違反が生じないように、農地パトロールを積極的に実施する。</li> <li>限られた農地を維持し、有効活用を図っていく。</li> <li>遊休農地の解消に向け、所有者の意向を把握し、解消を促進していく。</li> </ul>		
担当課長氏名:	磯崎 勇次		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止		改善の必要性
担当部名		部長名	